

事業報告書

こども活動

① 鑑賞活動 「ふしぎな時間もしもの国で」

9月16日(土) 開場 13:00 開演 13:30 終演 14:45

場所：花川北コミュニティーセンター ホール

出演：劇団かかし座

参加費：大人 1,800 円 高校生以下 800 円

参加者：一般 大人 45 名 高校生以下 45 名

クラブ児童 219 名 指導員 32 名 計 341 名

影絵パフォーマンスで国際的にも高い評価を受けている劇団かかし座の公演を実施。影絵と音楽と踊りが一体となった舞台に、多くの子どもたちが夢中になっていた。また、会場外での影絵体験ワークショップも非常に盛況だった。



② コムステチャレンジキャンプ 2017 小3～中学生男女

8月2日(水) 3日(木) 4日(金)

場所：どんころ野外学校(空知郡南富良野町)

指導者：どんころ野外学校の講師 団体構成員 2 名 スタッフ 7 名

参加費：16,000 円

参加者：小学生 23 名 中学生 4 名

オリエンテーション 7月9日(日)

花川北コミュニティーセンターで実施

平成 29 年度子どもゆめ基金助成活動

どんころ野外学校の講師による薪割り体験や火おこし体験を実施。以前にコムステチャレンジキャンプに参加したことがある小学生が多く、自ら率先して行動をする様子が見られた。



③ ひとりだちクッキング Ver7 小1～小3男女 全5回(7月～11月)

会場：花川北コミュニティーセンター調理室

指導者：竹中リュ子さんと補助スタッフ6名

食材費：1回1,000円

参加者：20名(うち男子4名) 延べ89名 参加率89%

1回目 たまごやき、円ばんぎょうざ、わかめとあげのみそしる

2回目 キャラメル大学ポテト、中華スープ、ソーセージロール

3回目 じゃがいものミニお好み焼き、きゅうりのたたき漬け
とうふの味噌汁、わかめご飯

4回目 ピザ、野菜たっぷりのミネストローネ

5回目 満月のり巻き、とうふもちり焼き、そうめん汁



多くの申し込みがあり、とても人気が高い活動である。参加した子どもの8割が習った料理を家で作ったり、お手伝いするようになったというアンケート結果が得られた。

④ こども料理教室 日本の伝統的な節句料理と行事の料理を楽しもう！

小4～小6男女 全5回(7月～11月)

会場：花川北コミュニティーセンター調理室

指導者：竹中リュ子さんと補助スタッフ6名

材料費：1,000円

参加者：20名(うち男子3名) 延べ86名 参加率86%

平成29年度文化庁伝統文化親子教室事業

1回目 〈上巳の節句〉

ちらし寿司、五色あられのしんじょう汁、桜餅

2回目 〈端午の節句〉 鯉のぼり寿司、春雨スープ、柏餅

3回目 〈七夕の節句〉 だしにこだわるそうめん、

3色野菜の豚肉巻き、水ようかん

4回目 〈重陽の節句〉 くりおこわ、いがいが栗、

菊のお吸い物、菊和菓子

5回目 〈小正月〉 お汁粉、柿の白和え、きゅうりのたたき漬け、うさぎの和菓子



日本の伝統的な節句料理に挑戦。だしの取り方や、土鍋での炊飯、蒸し器の使い方など和食の技術を習得。低学年対象のひとりだちクッキングからの参加者もみられ、継続的な活動となっている。

⑤ こどもフラワー教室 日本の節句・行事の生け花

小3～中3男女 全5回(7月～11月)

会場：石狩市民図書館視聴覚室

講師：信本尚子さん(華道未生会旭川支部師範会員)

スタッフ2名

材料費：1,000円

参加者：14名 延べ58名 参加率83%

平成29年度文化庁伝統文化親子教室事業

季節の行事に関する知識を踏まえての実践とすることで、参加者の意欲や充実度、達成感が高くなる傾向がアンケート等から見られた。



⑥ ビスケットであそぼう! 2017 小3～小6男女 10月14日(土)

会場：こども未来館

指導者：渡辺 勇士さん(合同会社デジタルポケット)

スタッフ2名

参加費：1,000円

参加者：21名

平成29年度子どもゆめ基金助成活動

今年で7回目となり、テクニック的な面はもちろん、「見わかる」という全体テーマを設定してより抽象的な思考を意識させるような内容としたが、参加した子どもたちの理解度は高かった。



⑦ 学習支援 マナビーバ

毎週金曜 全38回 18時45分～20時45分

(食事は18時～18時45分)

会場：こども未来館

学習ボランティア：11名 食事ボランティア：6名

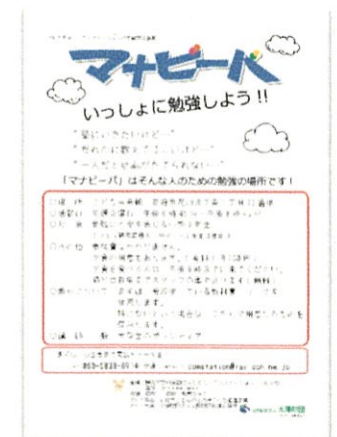
送りボランティア：3名

参加費：無料(食事代250円)

参加者：延べ人数352名

平成29年度公益財団法人太陽財団助成金事業

平成29年度石狩市子どもの居場所づくり推進事業



中学生・高校生の登録人数15名。今年度から学習ボランティアによる特別授業を実施。比例代表選挙の模擬投票を実施して選挙方法を理解するなどの授業を展開。石狩市とJAいしかり地物市場「とれのさと」の協力で地産の野菜を無償で提供していただけるようになった。

子育て支援事業

① ママパパライン®ほっかいどう

毎週月曜 13時～16時 祝日、年末年始お休み

受け手1名支え手2名事務スタッフ1名の体制で年間23件の電話を受けた。

2018年3月5日(月)～10日(土) 全国キャンペーン参加
3月17日(土) 「ママパパライン®スタッフ全国研修・交流会」
(特定非営利活動法人子どもNPO・子ども劇場全国センター主催、於国立オリンピック青少年センター)に4名参加。
(参考資料P8)



② 子育て支援「聴く力」を磨く傾聴講座 10月1日(日)

会場：石狩市公民館視聴覚室

講師：「傾聴の意味と意義」 飯田 昭人さん(北翔大学)

「ママパパライン®とは」 伊藤 美由紀さん

支援者のための「怒りのコントロール」 竹内 洋江さん
(特定非営利活動法人名古屋おやこセンター)

参加費：1,000円 参加者：16名

平成29年度赤い羽根共同募金助成事業



道内各地域から、幅広い年齢層の参加があり、今までにない傾向とニーズが見られた。ボランティア確保は引き続きの課題となっている。

③ 10代のベビーシッター養成講座

地域子育て支援拠点りとりきつずの事業にくみこまれているが、講師手配・講座内容などについて支援をした。

7月29日(土)30日(日) 小5～高校生男女

会場：石狩市総合保健福祉センターりんくる、こども未来館

参加費：600円

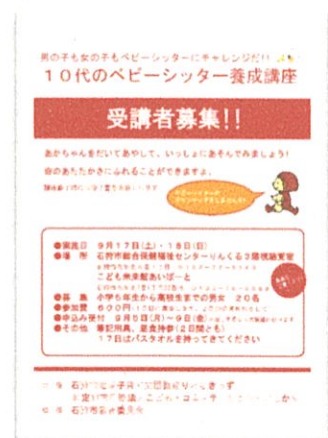
参加者：19名 小学生5名 中学生8名 高校生6名

赤ちゃんボランティア7名(1才～3才)

講師：「誕生学」 吉 裕子さん(助産師・誕生学アドバイザー)

「こどもの心と命の声を聴く自己尊重ワークショップ」

手塚 千砂子さん(NPO法人セパ代表)



受講者は講座修了後、りとりきつずでのベビーシッターボランティアへも積極的に参加している。今回は中学生・高校生の受講者が過半数となった。

地域交流

- ・ いしかり子育てネット会議に参加
子育てセミナー、いしかり子育てメッセ2017などの協力
- ・ こども見守りネット参加
- ・ 石狩地域子育て支援拠点連携会議参加（道庁）
- ・ 科学の祭典 2017 への協力 9月10日（日）
- ・ 石狩市子ども・子育て会議委員

研 修

（職員）

第1回 4月16日（日） 32名参加

「普通救命講習Ⅰ」 石狩消防署

「けん玉・コマのワークショップ」

講師 長尾 公史さん（NPO 法人つくしんぼクラブ）

第2回 9月30日（土）10月1日（日） 14名

「キッズのためのソーシャルスキルズトレーニング」 指導者資格取得講座

講師 石田 まり子さん（ステップあいち代表 臨床心理士）

第3回 12月16日（土） 36名参加 職員交流会

（その他）

- ・ 児童厚生員等基礎研修会（児童厚生2級取得）9名
岡野牧子、岡本栄子、金山清美、後藤章午、佐々木真奈、佐藤亜希子、
菅原かほる、西川恵利子、野村浩美
- ・ 北海道放課後児童支援員 16名
後藤知美、星野晴子、小山内美和子、野村浩美、谷口ゆかり、千葉理恵、
森憩、岡野牧子、宗石雅子、齋藤恵子、九澤陽、山野川真理子、仲河みゆき、
安藤優子、塩崎喜代子、金山清美
- ・ 児童館・放課後児童クラブのための特別講座「発達障害のある児童とその保護者への支援」参加 2名
松田海、佐々木真奈
- ・ ビスケットファシリテータ講習／総務省「若年層に対するプログラミング教育の普及推進事業」プログラミング指導者（メンター）講習 1名
安部幸男



ホームページでの広報活動

年度中に改裝作業を外部へ依頼し、2018年4月初旬に新内容への移行を実施した。更新頻度の向上、内容の充実が今後の課題。

理事会

4回の理事会を開催しコムステーションの事業等を支えた。

事務局

局長と事務局員3名（2018年1月より）の4人体制で事業管理、資産管理、労務管理をすすめる。コムステ通信の発行2回。

受託事業

- ・地域子育て支援拠点事業 子育て広場 りとるきっず

290日開設 延べ9,592名受け入れ

講座は子育てコーチング、リンパセルフケア、ベビーマッサージ、セルフジェルネイルなど16講座。 スタッフ3名（2018年12月より）

外部ボランティア講師の参加が活動を助けた。

「10代のベビーシッター養成講座」

「家族でほめ日記」 参加者3名 参加費1,000円

講師 手塚 千砂子さん（NPO法人セパ代表）



- ・放課後子ども教室 2か所 シップ子ども教室、八幡子ども教室

シップは地域の居場所として地域ボランティアの方々の力をかり定着している。

八幡はクラブの人数が少数のため教室の子どもが加わらないとあそびがなりたないこともあり一体化している。

- ・放課後児童クラブ 11クラブ

樽川スマイル、なかよし、おおぞら、にこにこ、げんきっ子、ピノキオ、キラキラ、花っ子、つくし、ファイトキッズ、さくらっ子

このうち5つのクラブには1名～2名の障がい児受け入れの加配がついている。

11クラブそれぞれ主任を中心にがんばっている。

クラブ全体では上野指導主任が中心となり、主任会議5回（5月、7月、10月、12月、2月）全員が集まる合同会議3回（6月、11月、2月）実施。合同会議では、各主任が受講した「ソーシャルスキルズトレーニング」研修内容の実践・活用について共有するなど、職員の意識改革、交流を図った。

指定管理事業 4館（こども未来館・花川南児童館・花川北児童館・おおぞら児童館）

- ・こども未来館 346日開設 28,660名の入場

りとるきっず、花っ子クラブ（計19,276名）を入れると入場者は47,936名

「遊び」や「体験」の場として様々な事業を展開している。小学生の時から利用して

いる児童が中学生となり、利用人数が増加してきた。

・花川南児童館 285 日開設 7,082 名の入場

なかよしクラブ、幼児開放の 11,678 名を入れると入場者は 18,760 名

土曜日の利用者が多くなっている。また、図書室のカーペットの貼り替えなどの環境整備を進めた。

・花川北児童館 291 日開設 3,895 名の入場

ピノキオクラブ、幼児開放の 8,469 名を入れると 12,364 名

来館の子どもたちとクラブの子どもたちとの交流が多く見られる。手先を使う事業が好評で、いつも参加者が定員いっぱいになる。

・おおぞら児童館 291 日開設 2,819 名入場

おおぞらクラブ、幼児開放の 10,107 名を入れると 12,926 名

幼児開放事業ころころが大人気で午前中にもぎわっている。夏休み・冬休み企画が充実していた。

・2017 いしかり児童館こどもまつり 10 月 21 日（土） 全市民対象

会場：こども未来館内外

実行委員会などのスタッフ：小中学生 60 名 高校生 22 名 大人 23 名

参加者：子ども 2,369 名 大人 317 名 計 2,686 名



巨大ダンボール迷路、鮭のぼり作り、プログラミング体験、生け花体験、書道パフォーマンス（石狩翔陽高等学校書道部）、クラシックミニコンサート（特定非営利活動法人奏楽）、フリースタイルバスケットパフォーマンス（大内拓也）、高校生バンドライブ、中学生ダンスパフォーマンス、各児童館ブース

今年度から 4 児童館が集まり、こどもまつり実行委員会を作り企画、運営を行った。多くの参加者が来館し、非常に賑わいのあるおまつりとなった。実行委員会の子どもたちにとっても、強い達成感を味わえるものとなった。

・児童館全館でプログラミング事業を毎月実施。

児童館・子ども教室は 5 回の主任会議（4 月、6 月、8 月、10 月、2 月）と 2 回の児童館まつり会議を行い、職員の研修と交流に努めた。